

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月22日
【四半期会計期間】	第85期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	伊藤忠商事株式会社
【英訳名】	ITOCHU Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 栄三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
【電話番号】	大阪（06）6241-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 増永 泰一郎 経理部 齋藤 勇
【最寄りの連絡場所】	東京都港区北青山2丁目5番1号
【電話番号】	東京（03）3497-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 武村 洋二 経理部 関 鎮
【縦覧に供する場所】	伊藤忠商事株式会社 東京本社 （東京都港区北青山2丁目5番1号） 伊藤忠商事株式会社 名古屋支社 （名古屋市中区錦1丁目5番11号） 伊藤忠商事株式会社 九州支社 （福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号） 伊藤忠商事株式会社 中国支社 （広島市中区中町7番32号） 伊藤忠商事株式会社 北海道支社 （札幌市中央区北三条西4丁目1番地） 伊藤忠商事株式会社 東北支社 （仙台市青葉区中央1丁目3番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄3丁目8番20号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号） 証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年8月13日に提出した第85期第1四半期(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)の四半期報告書及び平成21年1月28日に提出した同四半期報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、同四半期報告書の提出日時点の状況においてこれを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第85期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第84期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
<中略>		
売上高	(百万円) 3,119,187	12,387,908

<後略>

(訂正後)

回次	第85期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第84期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
<中略>		
売上高	(百万円) 3,064,426	11,729,082

<後略>

第2【事業の状況】

3【財政状態及び経営成績の分析】

(訂正前)

(3) 当第1四半期連結会計期間における業績

<中略>

なお、日本の会計慣行に基づく売上高は、為替が前第1四半期連結会計期間比円高となったことに伴う減収の影響があったものの、資源・エネルギー価格の高騰及び鉄鉱石販売数量の増加があった金属・エネルギー、穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量の増加、食品流通関連における取扱の増加があった食料等の増収により、前第1四半期連結会計期間比3,576億円 (13.0%) 増収の3兆1,192億円となりました。

<中略>

(6) オペレーティングセグメント別業績

当第1四半期連結会計期間におけるオペレーティングセグメント別の業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

<中略>

金属・エネルギーカンパニー

売上高は、石炭・原油等の資源・エネルギー価格高騰及び鉄鉱石販売数量の増加等により、前第1四半期連結会計期間比3,367億円 (44.3%) 増収の1兆962億円となりました。

<後略>

(訂正後)

(3) 当第1四半期連結会計期間における業績

<中略>

なお、日本の会計慣行に基づく売上高は、為替が前第1四半期連結会計期間比円高となったことに伴う減収の影響があったものの、資源・エネルギー価格の高騰及び鉄鉱石販売数量の増加があった金属・エネルギー、穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量の増加、食品流通関連における取扱の増加があった食料等の増収により、前第1四半期連結会計期間比3,078億円 (11.2%) 増収の3兆644億円となりました。

<中略>

(6) オペレーティングセグメント別業績

当第1四半期連結会計期間におけるオペレーティングセグメント別の業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

<中略>

金属・エネルギーカンパニー

売上高は、石炭・原油等の資源・エネルギー価格高騰及び鉄鉱石販売数量の増加等により、前第1四半期連結会計期間比2,869億円 (38.0%) 増収の1兆414億円となりました。

<後略>

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書】

(訂正前)

【第1四半期連結累計期間】

		当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第1四半期連結累計期間 <u>3,119,187</u> 百万円)	<中略> 1,5	<中略>	

<後略>

(訂正後)

【第1四半期連結累計期間】

		当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第1四半期連結累計期間 <u>3,064,426</u> 百万円)	<中略> 1,5	<中略>	

<後略>

四半期連結財務諸表注記

5 セグメント情報

<前略>

(訂正前)

【オペレーティングセグメント情報】

	当第1四半期連結累計期間				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	131,452	333,003	128,837	1,096,164	542,271
セグメント間内部売上高	142	298	1,185	93	4,777
合計	131,594	333,301	130,022	1,096,257	547,048
	<中略>				
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		798,800	45,052	43,608	3,119,187
セグメント間内部売上高		116	1	6,612	-
合計		798,916	45,053	36,996	3,119,187
	<中略>				

<後略>

(訂正後)

【オペレーティングセグメント情報】

	当第1四半期連結累計期間				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	131,452	333,003	128,837	1,041,403	542,271
セグメント間内部売上高	142	298	1,185	93	4,777
合計	131,594	333,301	130,022	1,041,496	547,048
	<中略>				
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		798,800	45,052	43,608	3,064,426
セグメント間内部売上高		116	1	6,612	-
合計		798,916	45,053	36,996	3,064,426
	<中略>				

<後略>